



Red Hat Insights 2022

Drift サービスを使用してシステムプロファイル 全体に承認済みのパッケージをインストールする 手順

承認済みのパッケージがシステムプロファイル全体にインストールされていることを確認してレポートを生成する方法

Red Hat Insights 2022 Drift サービスを使用してシステムプロファイル全体に承認済みのパッケージをインストールする手順

承認済みのパッケージがシステムプロファイル全体にインストールされていることを確認してレポートを生成する方法

Red Hat Customer Content Services

法律上の通知

Copyright © 2023 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

以下のワークフローでは、承認済みの RPM パッケージがシステムプロファイル全体にインストールされていることを検証し、解析用の CSV レポートを生成する方法を例示します。Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、弊社の CTO、Chris Wright のメッセージを参照してください。

目次

第1章 概要	3
第2章 DRIFT サービスへのアクセス	4
第3章 COMPARISON へのシステムの手動追加	6
第4章 インストール済みパッケージ別のシステムファクトのフィルターリング	7
第5章 システム比較出力のエクスポート	8
RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)	9

第1章 概要

IT オペレーターは、Red Hat Insights for Red Hat Enterprise Linux を使用して、承認済みのセキュリティツールおよび RPM パッケージが各システムにインストールされていることを確認します。

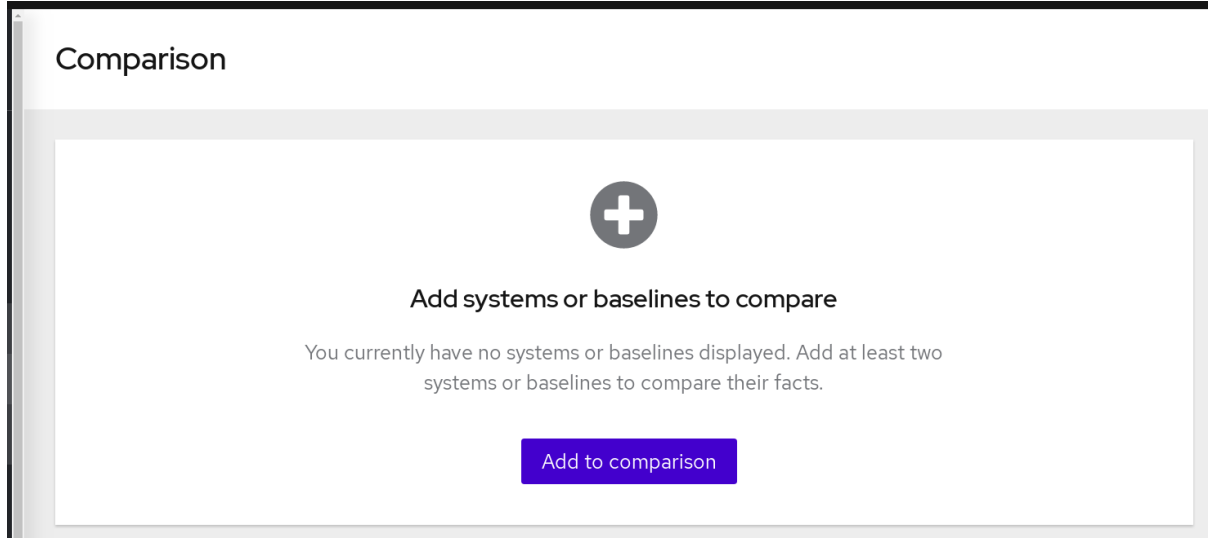
1. Drift サービスにアクセスします。
2. Drift サービス内に手動でシステムを追加します。
3. インストール済みのパッケージ別にシステム設定データをフィルターリングします。
4. 分析用の CVS ファイルに、フィルターリングしたデータをエクスポートします。

第2章 DRIFT サービスへのアクセス

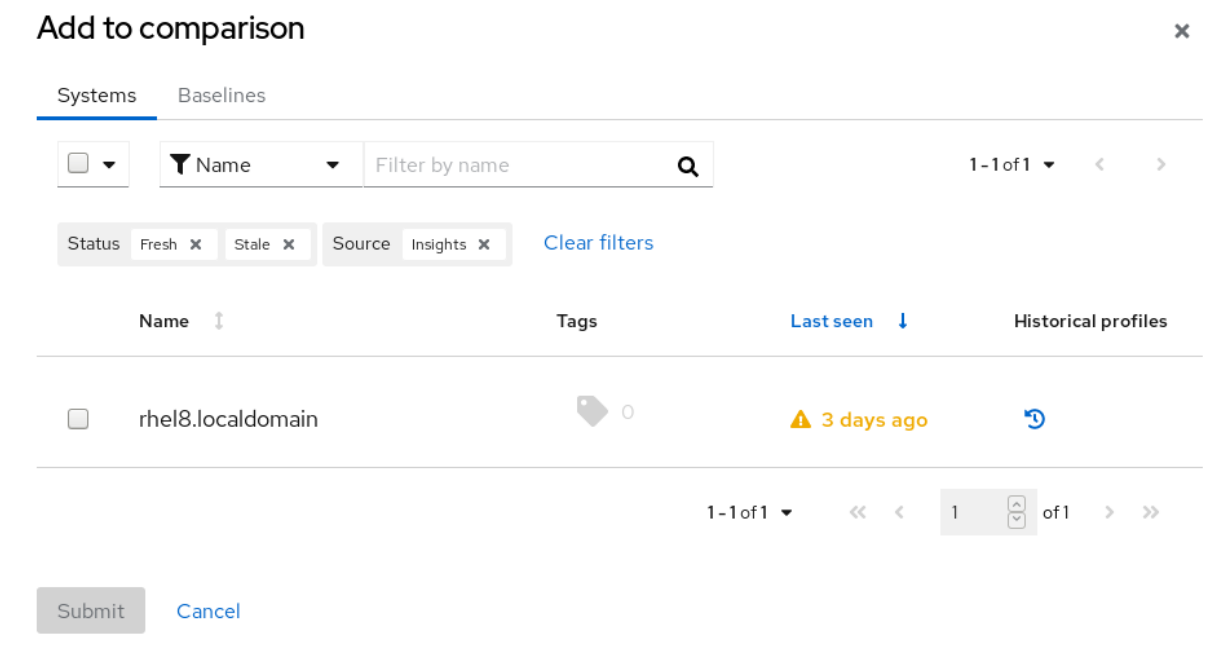
drift サービスは、Red Hat Insights for Red Hat Enterprise Linux に同梱されています。Red Hat Hybrid Cloud コンソール でこのサービスにアクセスします。

手順

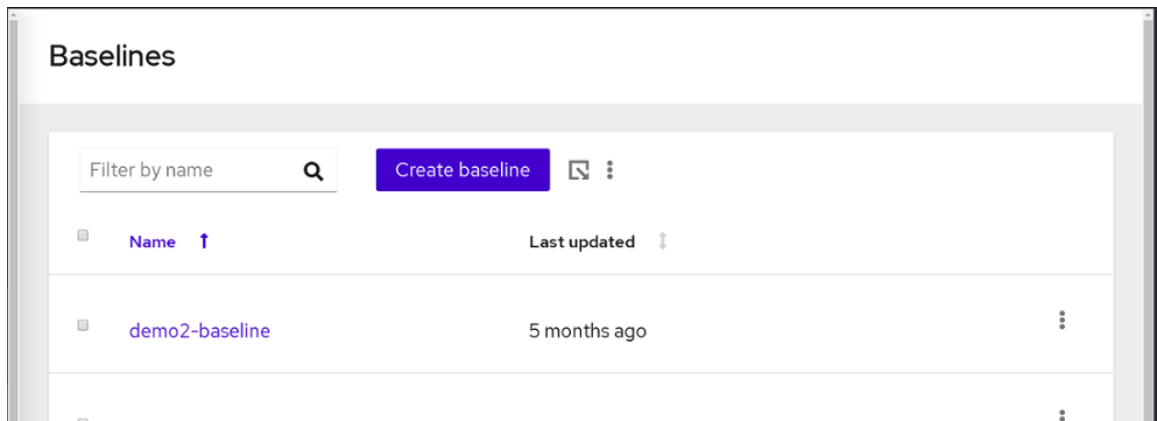
1. Comparison 画面が開き、Red Hat Enterprise Linux > Drift > Comparison ページに移動します。



2. Add to comparison をクリックします。Add to compare 画面が開き、比較するシステムやベースラインを追加できます。



- **System** タブで、比較する任意のシステムを追加できます。この画面には、Insights for Red Hat Enterprise Linux インベントリーにすでに存在するベースラインも一覧表示されます。
- **Baseline** タブで、ベースラインを作成できます。この画面では、インベントリーにすでに存在するベースラインも表示されます。



3. **Submit** をクリックして、システムまたはベースラインを追加して比較を行います。

それらを追加したら、Insights for Red Hat Enterprise Linux インベントリーでシステムとベースラインの事実の比較を開始できます。

第3章 COMPARISON へのシステムの手動追加


ドリフトサービス内で、Insights for Red Hat Enterprise Linux インベントリーに登録されているシステムを追加できます。

手順

1. Comparison 画面が開き、[Red Hat Enterprise Linux > Drift > Comparison](#) ページに移動します。
2. **Add to compare** をクリックします。
3. 一覧から比較するシステムを選択します。または、検索ボックスにシステムの名前を入力し、名前を検索してから、システムを選択します。
4. **Submit** をクリックします。



注記

- Comparison 画面上部付近にある **Add to comparison** ボタンをクリックして、他のシステムをいつでも追加できます。
- 同様に、個々のシステム名の右上にある X 記号をクリックすると、Comparison 内の特定のシステムを削除できます。
- 上部のオプションメニュー () をクリックして、Comparison の配下にある全システムを削除できます。
- **Clear all comparisons** をクリックして再起動します。

第4章 インストール済みパッケージ別のシステムファクトのフィルターリング

インストール済みのパッケージ別にシステムファクトをフィルターリングするには、次のコマンドを実行します。

1. 上部の検索ボックスに必要なパッケージ名を入力します。または、**installed_packages** を入力してインストール済みパッケージの一覧を表示します。
2. **View** ドロップダウンリストで、**Same**、**Different**、**Incomplete data** のチェックボックスを選択して、すべての比較状態の結果を表示します。

Insights for Red Hat Enterprise Linuxサービスは、インストール済みの全パッケージについてインストール済みのパッケージとバージョンを一覧表示し、内容が同じか異なるか、またシステム内で情報が欠落しているのはどこかが分かります。

Facts are filtered by installed RPM packages for which you can see a subset of the list. Note that for package `deltarpm` there is no difference in its version between the two systems. However, packages `rpm`, `rpm-build-libs`, `rpm-libs`, and `rpm-python` show differences. Also, data is missing for some of the other packages. This is a discrepancy as systems were not consistently upgraded with approved packages.

第5章 システム比較出力のエクスポート


以前にフィルター処理したシステムプロファイルの Comma Separated Value (CSV) ファイルをエクスポートできます。RPM バージョンが同じ場合、異なる場合、情報が欠けている場合など、インストール済みのパッケージ別にレポートがキャプチャーされます。



注記

エクスポートされた CSV レポートは、適用されているフィルターなど、システム比較の出力で現在選択されている内容をすべて保持します。つまり、WYSIWYG (What you see is What you Get) パラダイムに従います。したがって、ネスト化されたファクトカテゴリー (例: **installed_packages**) をレポート内でエクスポートしなければならない場合があります。

手順

1. 2つ以上のシステムのシステム比較出力画面上部で、**Export to CSV** ボタン  をクリックします。
2. **Export to CSV** をクリックします。

任意の場所に CSV ファイルを保存し、インストール済みの RPM パッケージでの差異を分析します。

RED HAT ドキュメントへのフィードバック (英語のみ)

当社のドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。フィードバックを提供するには、ドキュメントのテキストを強調表示し、コメントを追加してください。

前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。
- Red Hat カスタマーポータルで、**マルチページ HTML** 形式でドキュメントを表示している。

手順

フィードバックを提供するには、以下の手順を実施します。

1. ドキュメントの右上隅にある **フィードバック** ボタンをクリックして、既存のフィードバックを確認します。



注記

フィードバック機能は、**マルチページ HTML** 形式でのみ有効です。

2. フィードバックを提供するドキュメントのセクションを強調表示します。
3. ハイライトされたテキスト近くに表示される **Add Feedback** ポップアップをクリックします。ページの右側のフィードバックセクションにテキストボックスが表示されます。
4. テキストボックスにフィードバックを入力し、**Submit** をクリックします。ドキュメントに関する問題が作成されます。
5. 問題を表示するには、フィードバックビューで問題リンクをクリックします。